

<令和 7 年 7 月 定例記者会見>

1 開催日時

令和 7 年 7 月 1 0 日（木）午前 1 0 時 3 0 分～午前 1 1 時 0 0 分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、読売新聞社、岩手日報社

4 発表事項

（１）滝沢市クーリングシェルターの指定について（環境課）

滝沢市では、熱中症による健康被害の発生を防ぐため、7 月 3 日に「いわて生活協同組合ベルフ牧野林店」を気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に指定し、同日付けで、いわて生活協同組合様と、クーリングシェルターの運用に係る協定を締結しました。

クーリングシェルターとは、熱中症特別警戒情報の発表時等に、暑さをしのげる場所として一般に開放する施設です。

市では、適切な冷房設備を有し、無料で休める場所を提供できる施設をクーリングシェルターとして指定しております。

昨年度は、公共施設 4 か所をクーリングシェルターに指定しましたが、今年度においても更なる猛暑が予想されるなかで、この取組を推進していくため、この度、いわて生活協同組合様にご協力いただき、市内の民間施設で第 1 号の指定を実現することができました。

市民の皆さまには、外出先等で熱中症が心配されるときには、是非クーリングシェルターで休憩いただき、熱中症の予防に努めていただきたいと思います。

（２）たきざわ学び&いきいきセミナーwith 盛岡大学・盛岡大学短期大学部について（生涯学習スポーツ課）

滝沢市では、社会課題や教育課題を解決できる人づくりを目指した課題解決学習と誰もが何歳になっても学びなおし、学んだ成果を活かした更なる活躍を応援するリカレント教育の推進を目指して「たきざわ学び&いきいきセミナーwith 盛岡大学・盛岡大学短期大学部」を開催します。

第 1 回目は、7 月 2 6 日（土）午前 1 0 時から盛岡大学 D 校舎アクティブホールにて、
長谷川 公一 学長による講演「気候危機と私たちにできること」が行われます。

長谷川学長は、本年 4 月から学長となられており、環境社会学が専門となります。今回は、「気候危機」とはどんな問題なのか、なぜ解決が困難なのか、私たちにできることは何かを一緒に考える貴重な機会となります。

関係各位への周知と取材についてよろしくお願いいたします。

なお、第 2 回目以降のセミナーの詳細については、別紙を参照願います。

（３）たきざわ鈴の音フェアの開催について（観光物産課）

7 月 1 2 日（土）から 7 月 1 3 日（日）まで、J R 盛岡駅 2 階北側コンコース（大地館・ドトールショップ前）を会場に、物産展「たきざわ鈴の音フェア」を開催します。

例年、東京都や静岡県にて滝沢の旬の味覚をPRするブースを出展しておりますが、今回は、盛岡駅を利用する観光客や盛岡周辺住民の方をターゲットに、滝沢市特産品の認知度拡大を目的に実施いたします。

夏と言えば市の特産品である「滝沢スイカ」ですが、収穫期からは少し早いため、ブースでは予約販売として受付いたします。その他にも特産品開発補助金を活用して開発したスイカ缶詰、リンゴジャムなどの特産品加工品を販売します。

また、「鈴の音フェア」にちなみまして、18万9千人の来場者を記録した、みちのく初夏の風物詩「チャグチャグ馬コ」を模した工芸品も販売する予定です。

首都圏等で滝沢市のPRを行っているところですが、盛岡駅をご利用される観光客や地元の方にも、身近にある「滝沢市」を広く知っていただくチャンスと考えております。ぜひ報道関係者の皆様にも取材にお越しいただければと思います。

（４）たきざわよいちの開催について（観光物産課）

今年10周年の「たきざわ日曜朝市」から記念イベントのご案内です。

10周年を記念するイベントとして、市内で開かれている、菓子日曜朝市、柳沢日曜市場と合同で「たきざわよいち」を開催します。

普段は別々の会場で行われている朝市の魅力が集合し、各朝市の出店者の他、滝沢市商工会や観光物産協会の会員を中心に、飲食店や駄菓子屋さん、出張整体など27店のバラエティー豊かな出店が並びます。

朝市会としては初めて、お酒の提供があるイベントです。

いつも市内朝市をご利用の皆様、海の日3連休のお出かけに、皆様のお越しをお待ちしております。

（５）「タキザワチャレンジキャンプ」の実施について（若者活躍推進室）

学生が地域活動に関わる機会を提供することで、若者が地域の方々とつながり、滝沢市へ愛着をもち、自らの視点を取り入れ活躍する場を創出することを目指し、令和5年度から「滝沢ミライプロジェクト」開催しています。

「滝沢ミライプロジェクト」では、これまで「学生ならではの視点」で様々な「地域への想い」を提案・発表をしていただきましたが、その発表を聞いた市民の皆さんから「ぜひ想いを実現して欲しい」「実践するなら一緒に取り組みたい」との激励をいただくとともに、参加した学生の皆さんからは、滝沢を深く知る機会や「想い」を実現するための手法を学ぶ機会が欲しいとのお声がありました。

このことから、「滝沢ミライプロジェクト」につながる取り組みとして、学生がアイデアを形にする方法を実践的に学ぶことができる「タキザワチャレンジキャンプ」を実施します。

このイベントで、実践的な学びと、想いを共有できる仲間との出会いの機会を提供することにより、学生が「やってみたい」を形にする力を育成することを目指します。

事業の周知及び取材についてよろしくお願いいたします。

(6) 令和7年度「滝沢スイカまつり」について（農林課）

今年で17回目となる「滝沢スイカまつり」は、8月11日（月・祝）、午前5時からビッググループ滝沢において開催いたします。

6月時点でのスイカの生育状況は、例年より1週間ほど遅れておりますが、今後の気温上昇と共に生育も追いついてくるものと考えています。

その他、雨など天候の影響もありますが、農家の皆様の頑張りによって今年も県内一のスイカの産地にふさわしい、甘くておいしいスイカが収穫されることと思います。収穫は7月下旬頃から始まり、ピークはお盆頃となる見込みです。

スイカは夏バテ防止や熱中症の予防にも効果が期待できます。暑い夏を乗り切るためにも、美味しく健康にも良いスイカを是非お買い求め下さい。

今年の「滝沢スイカまつり」も滝沢日曜朝市と同時開催することとなっており、いっそうの盛り上がりが見込めます。

たくさんのスイカをご用意する予定ですので、皆様のご来場をお待ちしております。

なお、報道各社の皆様におかれましては、詳細が決定したのちに、改めてプレスリリースさせていただきますので、よろしくお願い致します。

また、同日（8月11日（月・祝））午前10時～ いわて生活協同組合ベルフ牧野林において、同組合の地域活性化の取組みの一環で滝沢スイカの直売イベントを実施します。市長も店頭に立ち、トップセールスを行う予定となっておりますので、併せて取材についてよろしくお願い致します。

(7) 「水の日」「水の週間」ブルーライトアップについて（施設課）

8月1日（金）から8月7日（木）まで滝沢総合公園ロックガーデンおよびビッググループ滝沢におきまして、ブルーライトアップを実施いたします。

滝沢市の上水道は99%が地下水で作られています。

この豊かな地下水資源をPRすると共に、水の大切さや水資源の保全、健全な水循環について理解を深め、水とのかかわりについて考えるきっかけを提供することを目的とし、水の大切さに関する普及啓発活動として「水の日」・「水の週間」に合わせて、水を連想させるブルーに滝沢市の象徴的な施設の一部をライトアップする取り組みを実施します。

この取り組みは、昨年度から浄水場や虹の橋など、限られた施設でのみ実施してきたところですが、今年度はより多くの皆様の目に触れるような取り組みとして行うことで、滝沢市の豊かな水資源PRはもちろんのこと、水や水資源の大切さ、健全な水循環や水とのかかわりについて考えるきっかけとしていただきたいと思います。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：クーリングシェルターについて、開放するタイミングは熱中症警戒発表時に限られるのでしょうか。また、何月ごろまで想定されていますか。

環境課長：ベルフ牧野林店でのイートインスペースは常時開放していて、特別警戒警報が出なくとも、利用はできるということでご協力いただいております。熱中症は6～9月頃までが対策期間ですが、常時利用可能です。

記者：たきざわ学びセミナーは昨年も行われたもののでしょうか。

生涯学習スポーツ課長：昨年度から行っており、今年度は2年目となります。

記者：昨年度も同じように5回行ったのですか。

生涯学習スポーツ課長：そうです。

市長：昨年は、盛岡大学や、ビッグルーフ滝沢などで行いました。大人になってから、大学で講義を受けるということはなかなかないため、好評でした。今年度も内容を変えながら開催します。第1回については、新学長から、気候変動をテーマに、一緒になって考え、対策を学んでいければと思っています。

記者：鈴の音フェアについて、これまでは東京などで行っていたものを盛岡で開催することとなった理由がありますか。

観光物産課長：東京にある岩手県のアンテナショップ「いわて銀河プラザ」で何年か開催していました。静岡県については災害時支援協定を結んでいる菊川市の産業まつりに伺いPRしていました。今回は夏の時期に滝沢スイカPRも含め、JR盛岡駅で実施するものです。

記者：県内に場所を移した理由がありますか。

観光物産課長：県外での開催をやめたわけではなく、今回は、県内に滝沢スイカをPRするため、盛岡駅で開催するものです。

記者：たきざわよいちについて、10周年記念ということで、初めての開催でしょうか。

観光物産課長：そうです。

記者：タキザワチャレンジキャンプについて、令和5年度からミライプロジェクトを行われていると思いますが、タキザワチャレンジキャンプも令和5年から行っているのでしょうか。

若者活躍推進室長：タキザワチャレンジキャンプは、今年度初めて開催します。

記者：ミライプロジェクトを見据えて行うものという解釈でよろしいでしょうか。

若者活躍推進室長：ミライプロジェクトを2年間行い、学生の思いを聞いたところであり、その意見を実現するため、どのような手法で行ったらよいか、実現にあたり、滝沢というフィールドに想いを落とし込みたいと思った時、そもそも滝沢を知らないということを学生から聞きました。ミライプロジェクトがスタートする前に、滝沢をまなぶ機会を創出するために今回初めて開催するものです。

記者：実現できるように支援するという位置づけなのでしょうか。

経済産業部長：ミライプロジェクトを行っていた時に、学生の想いは出てくるのですが、どうやって実際に形に落とし込むかということが大きな課題でした。これまで伴走はしていましたが、やり方を教えてあげるということを形にしたのがこのキャンプです。もう一つの課題として、やりたいが資金が足りないということがあり、今年度、助成金制度を創設しました。今回、この2つの支援で、我々も一緒に、学生の思いを形にしたいというものです。

記者：参加者は決まっているのですか。

若者活躍推進室長：現在募集中です。

記者：助成金は申請がありましたか。

若者活躍推進室長：2件申請がありました。申請を希望している方も数件あります。申請書を書くのもハードルが高いため、タキザワキャンプを運営する株式会社イノベーション

ョンラボ岩手にも協力していただき、申請書類の作り方も助言・伴走していただく予定です。

記者：たきざわよいちについて、初開催ということですが、なにか目玉はありますか。3つの朝市が一緒になり、具体的に何をするのか決まっていれば教えてください。

観光物産課長：出店による飲食イベントをまずやってみようということで、今回初開催するものです。

記者：今後も機会があれば続けていくのでしょうか。

観光物産課長：そういう機運になれば、継続していくことも考えられます。

記者：滝沢スイカまつりについて、今年で17回目ということですが、昨年までと違った点はありますか。

農林課長：大きく何か新しいものということは今のところはありません。スイカの販売、朝市との共同開催、イベントも開催します。

記者：午前5時からということですが、終了時間はだいたい何時頃でしょうか。

農林課長：8時までで設定しています、

市長：年々、お客さんが集まる時間が早くなっています。4時頃から集まり始めるという状況で、良いものを求めて来場する方が沢山いらっしゃることはありがたいと思っています。

6 その他記者からの当日質問

記者：中心拠点について、メインテナントのスーパーマーケットが秋田県から初出店されるということで、市としての受け止めや、来春開業とのことだが、遅れている現状含め、市としてのとらえかたをお聞かせください。

市長：株式会社伊徳が岩手初出店ということで、建設費も高騰するなか、良く出店を決意してくださったと思っています。核となるスーパーマーケットが決まり、他にも様々な飲食店ブースが開店する運びとなると思っていますが、この物価高の中でよく決断してくださったので、我々もできることがないか検討してまいりたいと思っています。まずは、市民に広く周知し、伊徳の持っている価値・特徴をしっかりPRしていきたいと思います。中心拠点の核となる出店が決まったのは嬉しい限りですので、開店時期が少し後ろ倒しになるかもしれませんが、一緒にできることや、伊徳が目指すものを今後協議しながら、熟度を増していければと思います。

記者：他の店舗について発表の予定はありますか。

市長：ACOPPについては伊徳にお願いしています。その中で情報提供できることがあれば、市からも併せて発表してまいりたいと思います。

記者：スイカの生育が例年より一週間ほど遅れているということですが、この暑さの農業への影響があれば教えていただきたいです。

農林課長：暑さで米なども生育が悪いのは滝沢市に限らず全国的な状況です。高温に伴う農作物への影響は、早い時期に出るりんごなどは生育がうまくいっていないという状況もあります。対策について、生産者の皆さんと一緒に考えながら行っていきたいと思っています。

市長：スイカの生育が遅れている理由の一つとして、4～5月の雨が多かったことで、定

植作業など圃場の準備がなかなか進まなかったということもあると思われます。このあとも高温が続き甘いスイカができると思っています。米については、田んぼに手を入れると熱く感じます。水の性質として、温まりにくいですが冷めにくく、夜も水温が高い状態です。それに合わせて日中に水を流し入れ、あるいは夜もかけ流すなど、手間のかかる作業だが、しっかり行っただき、良質な米の生産につなげていただければと思っています。

記者：参議院選挙が公示になり、県内では4候補が出馬していますが、支援の表明などがあれば伺いたいです。

市長：私もこれまで様々選挙を経験してまいりましたが、応援していただいた方にはしっかりと応援するというのがスタンスです。応援していただいた方にはこれからも応援してまいりますし、目指すものが同じ方であれば、一緒になって考えていきたいと思っています。今回、滝沢市では、移動投票所も設けました。まずは投票率向上と、これからの国政を市民の皆さまにも考えていただき、投票行動に移していただきたいと思っています。大切な思いを込めて投票していただける環境を市としても作っていきたいと考えています。